

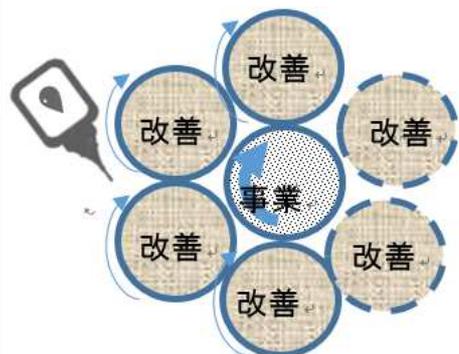
VOL.10 の内容

1. あなたの「カイゼン」教えてください
2. 職員提案制度活用のおすすめ
3. カイゼンリレー：商工振興課

豆知識：政策体系と改善（カイゼン）の関係

流山市の現在の総合計画は、6つの政策と、36の施策、そこに位置づけられた事務事業で構成されており、それぞれが歯車のように噛み合っており、市が目指す姿（都心から一番近い森のまち）の実現に向かっていきます。

改善（カイゼン）は、この目指す姿の実現に向かって、事務事業の歯車をスムーズに回すための潤滑油のような役割を果たします。



改善(カイゼン)行動報告

あなたの改善を 庁内に広めませんか？



1 改善（カイゼン）取組みの報告

8月1日付照会「改善（カイゼン）の取組み報告」について、このカイゼン通信でも、報告をお願いします。

これにより、職員ひとりひとりが取り組んでいる改善行動を、他の職員が知り、実践するきっかけになりますので、積極的な報告をお願いします。

（行財政改革改善プランにおける改善の分類）

事業改善：事業を進めるにあたり、そもそもの事業の目的、あり方を見直し、手段を大きく変えたり、やめたりすること。
（主に課長～係長を中心に取り組みます。）

業務（事務）改善：業務（事務）のやり方を見直し、効率化したり、簡素化したりして、ムリ・ムダ・ムラをなくすこと。
（主に係長～係員を中心に取り組みます。）

職場改善：職場の執務環境や、書類等の収納スペースについてより効率的に、気持ちよく仕事ができる環境にすること。
（職員全員が取り組みます。）

今回から、個人での改善行動の報告がしやすくなるよう、エクセルの様式による回答だけではなく、グループウェアのアンケートシステムでも報告ができるようにしました。一人で複数回の回答も可能です。

参考事例：これまで報告のあった取組みのほか、他市の参考資料は下記フォルダにまとめています。

¥¥Srf8019001¥流山市役所¥庁内受渡一時ファイル¥01 総合政策部 ¥03 情報政策・改革改善課¥【参考】カイゼン関連資料

各資料や様式の入手方法

また、各種様式や実施要領等は、グループウェアの電子書庫>便利BOX>共通情報>カイゼンの手引きからダウンロードできます。

市民への公開について

「流山市行財政改革・改善プラン」、「カイゼンの手引き」、「カイゼン通心（バックナンバー含む）」は、流山市HPにアップしています。

(ページ番号：1008749)

2 職員提案制度活用のススメ

(1) 職員提案制度とは？

流山市には、自らの課題を発掘し解決していく職員を育成し、職員の意識高揚や事務事業の効率化、更には、市民サービスの向上に寄与することを目的とした、「職員提案制度」があります。

提案の内容：「事務効率の向上」、「経費の節減」、「市民サービスの向上」等に繋がる提案が対象です。「この制度、ルール、やり方って、こうしたら全庁的にもメリットが大きいのではないかな...」というものが望ましいです。(自分の課のみでの取組みは、職員提案の対象外です。)

提案者：個人でもグループでも、どなたでも提案できます、
受付期間：通年受付ですが、職員提案審査会を開催する都合上、11月末を受付年度の区切りとします。

提出を考えている場合は、情報政策・改革改善課の担当者までお早めにご相談ください。(ギリギリの提出ですと、ブラッシュアップの時間が取れません...)

詳細は、「カイゼンの手引き」4P~をご覧ください。

(2) 今年度の提案制度改定についてポイント

今年度は、内容の充実のため、以下のポイントについて制度を見直しました。

さらなる円滑な審査のため、提案審査委員会組織を変更するとともに、審査会を設置。

提案者の意見表明のため、希望により審査会におけるプレゼンテーションを可能に。

提案や意見がより反映されやすくなるよう、提案用紙、関係課意見書、提案審査基準表等の様式を改定。

(3) これまでに採用された主な職員提案

- 公用自転車の導入(CO2削減に貢献。H18~)
- 差し押さえ品のオークションへの出展(H20~)
- 賃金や報酬の払込書を手書きから電子化へ(H21~)
- 外国人対応マニュアル作成(H27プロジェクトチームで作成。H29職員提案にて改定中)
- 認知症にやさしい窓口充実のための研修導入(H26~)
- 統合型GISの導入(H27からプロジェクトチームにより研究し、導入に至った。)
- 「異動ガイドブック」の作成と配布(H28)
- 公用文作成の手引きの見直し(H29)

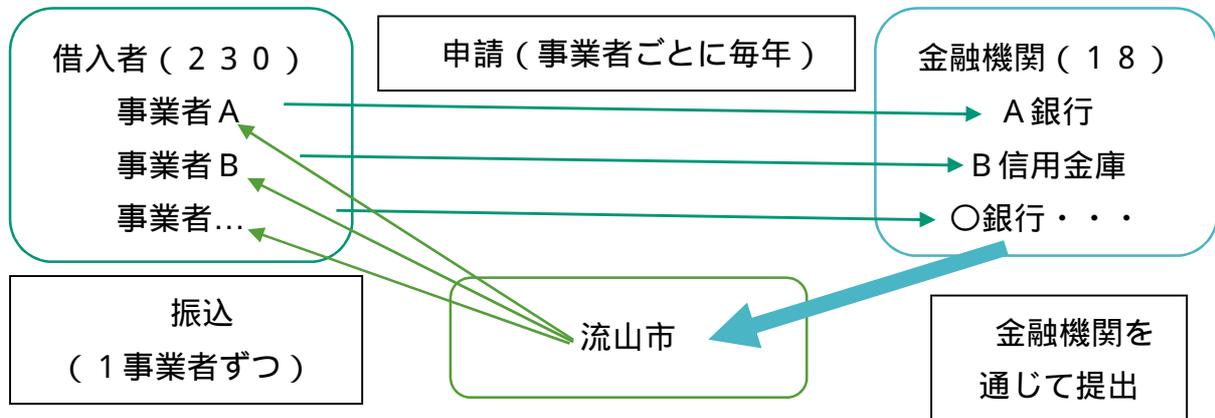
3 カイゼンリレー（第5回）：商工振興課

各課におけるカイゼンの取組みを紹介する連載「カイゼンリレー」。今回は商工振興課商工活性係からの報告です。

事務フローの大幅見直しによる市民サービス向上及び業務効率向上 （市融資利子補給事務における業務カイゼン）

（1）課題

商工振興課では、市制度融資の借入者の利子負担を軽減するため、その返済利子の一部を補助している。従来の事務フローは、借入者が返済額や支払い利息を金融機関に確認して申請書類を作成。補助金は、市から借入者に直接支払っていた。この利子補給の対象件数は毎年230件程度あり、金融機関からは借入者の対応事務負担を削減したいと要望があがっていた。また、市の事務負担も大きく、担当が育児休業明けであったことから業務の効率化が望まれていた。



（2）取組み

従来の事務フローをカイゼンした。借入者が、利子補給に係る事務を金融機関に委任し、金融機関が一括して市に申請及び申請できるようにした。そのための規則改正を行い、説明会等で関係者に周知指導した。

（3）効果

- 借入者の申請及び請求手続を金融機関が行うため、**借入者の負担がなくなった。**
- 金融機関は、借入者の対応業務がなくなり、**事務負担を削減できた。**
- 市は、借入者個々への対応から、金融機関への対応となったため、**対応件数が230件程度から18件になり、大幅な事務効率の向上と経費削減を達成**できた。

